

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視観察結果	クビレミドロ監視地点ではst.1で1回(24回測定中)、st.2では1回(24回測定中)監視基準(SS=7mg/L)を超過した。 工事の濁り監視地点の全てで、監視基準を満足していた。 クビレミドロ監視地点での最大値は8月24日のst.2で9.4mg/Lであった。 工事の濁り監視地点での最大値は8月24日のst.4で9.5mg/Lであった。			
	水質調査結果	クビレミドロ監視地点基準値【st.1～3: SS=7mg/L】	st.1は8/24において、監視基準(SS=7mg/L)を超過した st.2は8/24において、監視基準(SS=7mg/L)を超過した 平均値は4.2mg/L、1.7～9.4mg/Lの範囲で推移していた。	調査期間中は、県道20号線(泡瀬工区)の汚濁防止膜設置、鋼矢板打設、試験杭・中間杭打設、カーテン巻上げ等が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されていなかった。 国施工の工事は裏埋材投入、汚濁防止膜設置、石材撤去、上部工(コンクリート打設、型枠組立、生コン打設)、鋼製覆工板搬入・設置、PC覆工板撤去、鉄塔撤去、ガス切断が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されていなかった。
		工事の濁り監視地点基準値【st.4～12: SS=11mg/L】	全ての地点で、監視基準(SS=11mg/L)を満足していた。 平均値は1.7mg/L、<1.0～9.5mg/Lの範囲で推移していた。	
		流入部負荷量の調査地点	SS=11mg/Lを超えた回数: st.13=6回(25計測中) SS=50mg/Lを超えた回数: st.13=0回(25計測中) 平均値は8.9mg/L、3.2～27.1mg/Lの範囲で推移していた。	
		流入水路部調査地点(st.13)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。	8/12の27.1mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日72.5mm、前日0.0mm、当日0.0mmであった。	
基準超過時の気象概況	*8月24日は、風向はSE、風力は3～4、波高は0～1m程度であった。降雨は調査前3日間で4mm、当日が0mmであった。		【調査位置図】 	
基準超過時の工事状況	基準超過時は、県道20号線(泡瀬工区)橋梁整備工事及び仮設橋整備工事において、鋼矢板打設が行われていた。			

第5回(8月期モニタリング/フィードバック 月例会議)

対象期間: 令和元年8月1日～令和元年8月31日 沖縄県調査分

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視観察結果	<p>調査地点の最高値は8月20日(PM)のst.5で観測された14mg/Lであった。 工事の濁り監視地点では、st.5で3回(40測定中)、監視基準(SS=11mg/L)を超過した。 基準値超過時は、人工島北側浅海域(st.1～st.3周辺及びst.5周辺)において、水色が緑白色の濁りが広がっているのが確認された。</p>			
	<p>工事の濁り監視地点基準値 【st.5～8: SS=11mg/L】</p>	<p>8/13 st.5(AM 下げ潮時),8/20 st.5(PM 下げ潮-干潮-上げ潮時),8/24 st.5(PM 下げ潮時)で工事監視基準値を超過した。 平均値は3.7mg/L、<1.0～14mg/Lの範囲で推移していた。</p>	<p>8月13日、20日、24日は、St5において工事監視基準を超過していた。 8月13日、20日は、橋梁工事は行われていた。工事施工所およびその周辺は低潮位で干出していたため工事との関連性はないと考えられた。低潮位であったことから、風浪による底質の巻上げの影響と考えられた。 24日は、橋梁工事は行われていたが、工事施工所の直近において監視基準値以内のSS値を示したため、工事との関連性はないと考えられた。原因として、下げ潮による流れと南東よりの風浪の影響による海底砂の巻き上げによる濁りと考えられた。</p>	
	<p>流入部負荷量の調査地点</p>	<p>SS=11mg/Lを超えた回数: st.14=50計測中50回 st.15=50計測中47回 SS=50mg/Lを超えた回数: st.14=50計測中11回 st.15=50計測中2回</p>	<p>特になし</p>	
	<p>流入水路部調査地点(st.14、st.15)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。</p>	<p>st.14:8/29 (PM 上げ潮時)77mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日が6.5mm、前日が15.0mm、当日が3.0mmであった。降雨による濁水流入は見られなかった。 st.15:8/10 (AM 上げ潮時)94mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日が34.5mm、前日が29.0mm、当日が72.5mmであった。降雨による濁水流入がみられた。</p>		
基準超過時の気象概況	<p>基準超過時の気象概況は以下の通りであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月13日(AM)は、風向が北、風力が4、波高が0.1m程度であった。降雨は調査2日前0mm、1日前0mm、当日が0.5mmであった。 ・8月20日(PM)は、風向が南、風力が4、波高が0.1～0.2m程度であった。降雨は調査2日前6.5mm、1日前15mm、当日が3mmであった。 ・8月24日(PM)は、風向が南東、風力が3～4、波高が0.1～0.3m程度であった。降雨は調査2日前0mm、1日前0.5mm、当日が0mmであった。 		<p>【調査位置図】</p>	
基準超過時の工事状況	<p>基準超過時の工事内容は以下の通りであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月13日(AM)に県道20号線の橋梁整備工事において、鋼矢板打設工事が行われていた。 ・8月20日(PM)に県道20号線の橋梁整備工事において、鋼矢板打設工事が行われていた。いっくえ護岸において、裏込材投入が行われていた。 ・8月24日(PM)に県道20号線の橋梁整備工事において、鋼矢板打設工事が行われていた。 			

